

令和4年度  
(2022年度)

発言要旨

## 1 当初予算の規模

令和4年度の高崎市の一般会計予算は、

1,640億2,000万円、前年度比0.5%の減となります。

また、一般会計、特別会計、企業会計を合算した令和4年度予算の総額は、2,642億2,562万円で、前年度比0.1%の増でございます。

## 2 予算編成の基本方針

令和4年度の予算編成は基本方針といたしまして、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期すとともに、引き続き「徹底した事業費の削減」、「重点事業の積極的な推進」、「人件費の圧縮」の3つを柱に掲げ、限られた財源をいかに効率よく、いかに効果のある事業に配分していくかといった視点をこれまで以上に重視し、選択と集中による「新しい高崎」の理念と基本政策の実現に向けた具体的な施策を展開していくことといたしました。

## 3 一般会計予算の概要

令和4年度の予算編成では、令和3年度の終了事業と併せて、主だったもので124項目の経費削減を行い、職員数については、限られた人員で最大の効果を挙げるよう、各課職員の配置を見直しました。また、重点事業等に103項目を選定し、本市が都市として、さらに成長・発展していくための施策から重点的に財源を配分いたしました。

はじめに、歳入の概要でございます。

市税は全体で、621億9,340万円、前年度と比べて6.2%の増といたしました。市民税個人は所得や労働人口の実績等を反映させ約12.1億円、前年度比5.8%の増、市民税法人は感染症拡大の影響で落ち込んだ企業業績の回復を見込むとともに、国の地方財政計画を踏まえ約10億円、前年度比22.5%の増といたしました。

固定資産税は、感染症に係る特例措置等の縮小や企業の設備投資が増加傾向にあることから、全体で約9.9億円、前年度比4.0%の増といたしました。

市たばこ税につきましては、実績等を考慮し約2.5億円、前年度比11.6%の増を見込みました。

地方消費税交付金は、感染症拡大の影響を受けた消費の回復等を勘案し、前年度比11.4%増の88億円といたしました。

地方交付税につきましては、国の地方財政計画や交付実績を考慮し、普通交付税は14.0%増の106億円に、特別交付税は前年同額の18億円といたしました。

繰入金では、財政調整基金から39億円、減債基金から10億円を繰入れるほか、地域振興基金3.6億円、新型コロナウイルス緊急経済対策基金2億円などを事業に活用することといたしました。

市債は、建設等事業債の発行額抑制に努め、前年度比約5.6億円、7.1%の減といたしました。また、臨時財政対策債を前年度比57.8%減の35億円として見込み、市債全体では前年度比33.2%減の107億9,050万円といたしました。

なお、令和4年度末市債現在高の見込みは、26.3億円減の1,482億6,632万円となり、債務の抑制に努めました。

次に、歳出の主要な事業等を、「新しい高崎」の基本政策に基づき政策分野ごとに分類して説明をいたします。

## 『教育と人づくり』

「くらぶち英語村」の運営につきましては、地域住民との連携をさらに深めながら、特色である生きた英語に囲まれた教育環境の充実を引き続き図ってまいります。

小中学校の英語教育では、学力向上を図るため、引き続き外国語指導助手を全小中学校へ配置いたします。また、中学2年生を対象に英語4技能テストを実施し、英語力の育成指導に活かしてまいります。

不登校対策では、スクールソーシャルワーカーの人員を増員し、支援の強化を図ってまいります。また、家事やきょうだいの世話、家族の介護などをする中学生、高校生の負担軽減を図るため、新たにヤングケアラーSOSサービス事業を実施いたします。

学校施設につきましては、小中学校のトイレの洋式化に引き続き重点的に取り組むとともに、新たに学校体育館に空調設備を設置するなど、学校環境の改善を一層推進してまいります。

他にも、引き続きGIGAスクール構想の推進や、高崎経済大学において特別講義を開催するなど、幅広く本市の教育環境を充実させてまいります。

	・くらぶち英語村運営事業	170,844千円
		(別添、当初予算の概要及び主要事業 10ページ)
	・英語教育指導事業	398,722千円 (29ページ)
拡大	・スクールソーシャルワーカー活用事業	24,566千円 (29ページ)
新規	・ヤングケアラーSOSサービス事業	83,000千円 (29ページ)
	・学校施設の維持補修等	579,278千円 (29ページ)
	うちトイレ洋式化工事	300,000千円 (29ページ)
	うち外壁改修工事	69,022千円 (29ページ)
新規	・学校体育館への空調設備設置	134,000千円 (29ページ)
	・GIGAスクール構想の推進	297,008千円 (30ページ)
	・高崎経済大学の運営支援	530,000千円 (31ページ)

## 『産業の振興』

高崎ブランド・シティプロモーションでは、地域資源を効果的に発信することで、知名度、ブランド力の向上を図るとともに、SNSなどを用いて本市の魅力効果的に情報発信し、移住促進につなげてまいります。

また、海外プロモーション活動において映画産業との関連付けを行い、本市の魅力を一面的に世界に向けて発信してまいります。

労働施策では、市内中小企業の人材確保を目的に、市内在住かつ市内中小企業に就職した若者に対して、新たに電子地域通貨システムを活用して奨励金を交付いたします。また、市内の一流の技能者を顕彰し、広く市民に周知する取り組みを新たに開始いたします。さらに、老朽化した労使会館においては、現在の機能に体育館を加え、建替えに向けた設計に本格的に着手いたします。

農業の振興では、新品種や新商品の開発、普及宣伝活動および6次産業化、農商工連携に取り組む活動を引き続き支援するとともに、荒廃農地の整備などの支援を拡充してまいります。また、市内産フルーツの消費拡大を推進するため、果樹販売施設の整備に向けた基本構想を策定いたします。さらに、本市において新規に就農した方に対して、初期費用や生活費などを総合的に支援する市独自の制度を創設し、担い手の確保に努めてまいります。

国際施策の振興では、ジェトロ群馬貿易情報センターやジャイカ東京高崎分室と連携し、市内事業者などの海外進出や販路開拓に向けた取り組み、また国際貢献に対する活動について支援してまいります。

商工施策では、地元企業の支援策として「中小企業経営安定化助成」、「職場環境改善事業」を引き続き実施するとともに、市内事業者の多岐にわたる相談事にワンストップで対応できる窓口を継続して開設いたします。さらに、人材育成や生産性向上を目的とした従業員の資格取得に対して引き続き支援いたします。また、多くの方々にご利用いただいております「まちなか商店リニューアル助成」と「飲食店衛生向上リニューアル特別助成」につきましては、「住環境改善助成」とともに引き続き必要な予算を確保し、店舗の魅力や集客力の向上、市内経済の活性化につなげてまいります。

ビジネス誘致施策では、首都圏において本市の産業、文化および観光等を広く発信し、高崎ブランドの浸透を図るとともに、ビジネス誘致施策を引き続き積極的に展開してまいります。

	・高崎ブランド・シティプロモーション事業	60,000千円（10ページ）
	・SNS等を用いた移住定住促進事業	10,000千円（10ページ）
	・東南アジア映画交流事業	7,000千円（10ページ）
新規	・中小企業就職奨励金	100,000千円（20ページ）
新規	・一流技能者顕彰事業	2,000千円（20ページ）
新規	・労使会館建設事業	106,502千円（20ページ）
	・農業の振興（地産多消の推進）	
	農業者新規創造活動支援	150,000千円（21ページ）

	榛名山麓果樹販売施設基本構想の策定	3,000千円 (21ページ)
拡大	農地再生推進事業	80,000千円 (21ページ)
新規	かがやけ新規就農者応援給付金	20,000千円 (21ページ)
拡大	・国際施策の振興 (海外進出・販路開拓・国際貢献)	77,100千円 (22ページ)
	・地元企業支援策	
	中小企業経営安定化助成	840,000千円 (22ページ)
	職場環境改善事業	100,000千円 (22ページ)
	まちなか経済情報センター事業	11,790千円 (22ページ)
	中小企業者資格取得支援事業	10,000千円 (22ページ)
	まちなか商店リニューアル助成	300,000千円 (22ページ)
	飲食店衛生向上リニューアル特別助成	50,000千円 (22ページ)
	住環境改善助成	100,000千円 (27ページ)
	・ビジネス誘致施策の推進	
	高崎シティプロモーション	30,000千円 (23ページ)
	産業立地振興奨励金	477,962千円 (23ページ)
	ビジネス立地奨励金	119,329千円 (23ページ)

## 『文化と歴史を活かした創造的な高崎』

文化事業では、まちなかの活性化につなげるため、高崎アートインキュベーションや高崎光のページェントをさらに充実させてまいります。

スポーツの振興では、市民ゴルフ場跡地を様々なスポーツに親しむことのできる施設に引き続き整備するとともに、高崎アリーナなどで開催予定の各種スポーツイベント等を支援し、市内スポーツの更なる振興を図ってまいります。

歴史を活かしたまちづくりでは、ユネスコ「世界の記憶」に登録された「上野三碑」の保存活用に努め、地元のボランティア団体と連携した活動に引き続き取り組むとともに、榛名神社の社殿など、国の重要文化財建造物の修復を支援してまいります。

史跡の保存整備では、「北谷遺跡」や「上野国多胡郡正倉跡」の公有地化と、「日高遺跡」、「箕輪城跡」等の整備につつまして継続して実施するとともに、「保渡田古墳群」の再整備にも着手いたします。このほか重要遺跡調査として、「多胡碑周辺遺跡」や「上野国分尼寺跡」の調査を継続し、「倉賀野浅間山古墳」の発掘調査も新たに実施してまいります。

・文化事業の振興	252,975千円 (10ページ)
・スポーツの振興	
スポーツイベント等開催支援	180,104千円 (11ページ)
高崎市民スポーツパーク (仮称) 整備	42,726千円 (27ページ)
・歴史を活かしたまちづくり	
「世界の記憶」上野三碑の保存活用	37,484千円 (30ページ)
榛名神社保存修理支援	21,000千円 (30ページ)
史跡の保存整備	163,503千円 (30ページ)

## 『やさしい眼差しに満ちた市政』

子育て支援対策では、妊娠期から就学前児童をもつ保護者等の負担軽減を図るため、「子育てSOSサービス事業」を引き続き実施するなど、更なる子育て環境の充実を図ってまいります。

「待機児童ゼロ」に向けましては、希望する方々が円滑に保育所等を利用できるよう、定員増を目的とする私立保育所等の施設整備や年度途中の入所に備え、予め雇用した保育士の人件費に対する支援を引き続き実施してまいります。

病児・病後児保育につきましては、施設を拡充するとともに、病児保育施設が併設された医療機関が開院前に行う診察に対して、引き続き支援してまいります。さらに、保育所、幼稚園および認定こども園における「気になる子」への支援を継続し、保育環境の更なる充実を図ります。また、放課後児童クラブにつきましても、地域の実情にあわせて増設を進めてまいります。

年々増加する児童虐待事案への対応につきましては、相談・支援体制を強化するとともに、児童相談所の開設に向けた準備を進めてまいります。

障害者福祉の充実では、障害者支援SOSセンター「ばる～ん」を引き続き運営し、障害に関するあらゆる悩み事に対して総合的に対応してまいります。また、障害者の就労の場を確保するため、倉渕地域に障害者が付加価値の高い農産物を生産する就労支援施設を新たに開設するための準備を進めてまいります。

高齢者福祉の充実では、市内7地域において、現在運行している、乗り降り自由、予約不要、利用料無料の「おとしよりぐるりんタクシー」を引き続き運行し、交通弱者の支援を図ってまいります。また、介護者の急用時に市内どこでもヘルパーが即時に対応し、24時間365日体制で介護者の負担軽減や介護離職の防止を図る「介護SOSサービス事業」を継続して実施し、ひとり暮らし高齢者等の生活の不安を解消するための「あんしん見守りシステム」および高齢者や障害者が行方不明時に早期発見する救援システムの普及も、引き続き進めてまいります。さらに、高齢者人口や地域の実情に合わせ、引き続き高齢者あんしんセンターの人員体制を充実させ、きめ細かな相談・訪問を行ってまいります。

救急医療体制の充実では、救急搬送患者のたらい回しゼロの強化に向け、医療機関の受入体制の整備に対し引き続き支援してまいります。また、市内医療機関での24時間365日の小児救急医療体制を継続して実施してまいります。

母子保健事業では、「妊婦健康診査補助券」による妊婦健康診査費用や産後2週間および1ヶ月の産婦健康診査費用を助成し、母子に対する支援をさらに充実してまいります。また、小児難病対策では、医療費、通院費用の一部を引き続き助成いたします。

がん対策事業の推進では、がんの早期発見・早期治療および各種がん検診の受診率の向上を図るため、医療機関での個別検診の実施や内視鏡による胃がん検診の推進などを引き続き実施してまいります。また、医療用ウィッグなどの購入費用に対する助成を継続し、がん治療等を受けている方の社会生活を支援いたします。

	・子育て支援対策		
	子育てSOSサービス事業	33,708千円	(12ページ)
	保育所入所待機解消支援事業	114,000千円	(13ページ)
	保育所等施設整備事業	172,051千円	(13ページ)
	うち保育所等緊急整備事業費補助	161,847千円	(13ページ)
	うち公立保育所施設借上	10,204千円	(13ページ)
	一時預かり保育事業	88,219千円	(13ページ)
	病児・病後児保育事業	150,505千円	(13ページ)
	うち病児保育受入体制強化事業	4,800千円	(13ページ)
	「気になる子」保育支援	60,910千円	(13ページ)
拡大	放課後児童クラブの充実	830,811千円	(12ページ)
拡大	児童相談所整備事業	91,076千円	(14ページ)
	・障害者福祉の充実		
	障害者支援SOSセンター事業	18,719千円	(12ページ)
新規	障害者農業就労施設整備事業	49,300千円	(12ページ)
	・高齢者福祉の充実		
	おとしよりぐるりんタクシーの運行	241,428千円	(14ページ)
	介護SOSサービス事業	89,997千円	(14ページ)
	高齢者等あんしん見守りシステムの充実	398,320千円	(14ページ)
	高齢者あんしんセンター運営事業	604,370千円	(15ページ)
	・救急医療体制の充実		
	救急患者の受入促進	80,000千円	(17ページ)
	救急患者受入体制整備支援	55,000千円	(17ページ)
	脳卒中患者受入体制強化	40,000千円	(17ページ)
	心疾患患者受入強化	10,000千円	(17ページ)
	高崎総合医療センター新病棟整備支援	200,000千円	(17ページ)
	・小児救急医療体制の充実		
	夜間小児救急医療体制の確保	10,880千円	(17ページ)
	小児救急医師の確保	13,389千円	(17ページ)
	・母子保健事業の充実		
新規	妊婦健康診査特別助成	25,500千円	(18ページ)
拡大	産婦健康診査・産後ケア事業	30,670千円	(18ページ)
	不妊・不育症治療費助成	104,250千円	(18ページ)
	多胎妊婦健康診査費用助成	1,169千円	(18ページ)
	小児慢性特定疾病医療費等特別助成	4,834千円	(19ページ)
	・がん対策事業の推進		
	がん検診事業	439,717千円	(19ページ)
	医療用ウィッグ等購入費補助	5,000千円	(19ページ)

## 『新型コロナウイルス感染症への対策』

新型コロナウイルス感染症対策では、感染症による入院体制の強化を図るため、引き続き、専用病床の増床及び回復患者の転院に対し助成するほか、診療・検査体制の充実のため、帰国者・接触者外来を開設している医療機関に必要な経費を助成いたします。

また、患者や濃厚接触者等のPCR検査や入院医療費についても全額公費負担を実施するとともに、新規陽性者等への対応やワクチン接種体制の更なる強化のため、保健所の職員を増員します。

さらに、コロナ禍において経営に支障が生じている事業者の支援を引き続き実施いたします。

なお、このほかの新型コロナウイルス感染症への対応については、感染状況を注視しながら、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」と合わせて、適宜予算措置等することといたします。

### 拡大 ・ 新型コロナウイルス感染症対策事業

医療提供体制整備	122,845千円 (16ページ)
夜間休日急病診療所の強化	30,213千円 (16ページ)
新型コロナウイルス病原体検査	108,750千円 (16ページ)
感染症入院患者医療費助成	30,000千円 (16ページ)
保健所の人員体制の強化	96,096千円 (16ページ)
緊急経済対策資金保証料補助・利子補給	211,981千円 (16ページ)

## 『合併した地域の個性を活かした魅力づくり』

新町地域では、新町駅のバリアフリー化を促進するため、新たにバリアフリースイレを設置してまいります。

榛名地域においては、好評をいただいております「榛名山ヒルクライム in 高崎」など、地域資源を活かしたイベントを引き続き開催いたします。

また、倉淵、榛名、吉井地域への定住を促進するため、住宅取得に係る利子補給を継続して実施いたします。

老朽化した道路など社会資本整備につきましては、修繕や延命化が喫緊の課題ですが、4年度も引き続き6支所の地域において、積極的・弾力的な対応が図れるような予算を計上いたしました。

新規 ・ 新町駅バリアフリースイレの設置	10,000千円 (25ページ)
・ 榛名地域スポーツ振興 (榛名山ヒルクライム in 高崎など)	39,500千円 (11ページ)
・ 移住促進資金利子補給	100,000千円 (10ページ)
・ 道路橋りょう維持補修工事	513,000千円 (25ページ)
うち支所地域維持補修工事	180,000千円 (25ページ)



## 『安心・安全な地域社会づくり』

防災対策事業では、台風や大雨、局地的豪雨等による浸水被害を軽減するため、緊急排水ポンプを引き続き設置するとともに、新たにハザードマップを改定いたします。また、地域の自主防災組織への支援につきましても継続してまいります。

交通安全対策では、通過する車両の速度抑制を促す路面段差等を新たに整備するとともに、時間帯通行規制道路へ可動式バリケードを配備いたします。また、引き続き、道路等の破損箇所の迅速な補修や、カーブミラーなどの安全施設の整備を実施してまいります。

高浜クリーンセンターの建替えにつきましては、施設の建設およびプラント設備工事を進めてまいります。また、高齢者等のごみ出し支援として、自身でのごみ出しが困難な高齢者世帯等を対象に、戸別訪問によるごみ収集を引き続き実施してまいります。

	・ 防災対策事業の推進	
	緊急排水ポンプの設置	96,600千円 (28ページ)
新規	ハザードマップの改定	7,800千円 (28ページ)
	自主防災組織への支援	22,500千円 (28ページ)
	・ 交通安全対策	
新規	通学路緊急安全対策工事	20,000千円 (25ページ)
新規	可動式バリケード購入	1,000千円 (25ページ)
	生活道路緊急舗装工事	100,000千円 (25ページ)
	交通安全施設整備事業	112,500千円 (25ページ)
	・ 高浜クリーンセンター建設事業	8,095,799千円 (19ページ)
	・ 高齢者等のごみ出し支援	102,592千円 (19ページ)

## 『大勢の人が歩き、賑わう街』

中心市街地の活性化と観光施策の充実では、中心市街地を無料で自由に乗り降りできる「お店ぐるりんタクシー」を継続して運行し、更なる回遊性の向上を図るとともに、毎回多くの来場者で賑わう「高崎まつり」や「高崎だるま市」の開催など、引き続きまちなかの活性化を図ってまいります。また、高崎オーパ内の「高崎じまん」などでの高崎産の農産物や食、物産の販売を引き続き支援するとともに、「高崎の食」をアピールするための各種施策を継続実施し、「高崎ブランド」を全国に発信してまいります。

また、JR信越本線北高崎駅と群馬八幡駅間の新駅設置に向けた準備を引き続き行うとともに、新駅へのアクセス及び地域住民の利便性向上のため、上豊岡町から下小埜町を結ぶ新たな橋りょう整備に向けた準備を進めてまいります。

高崎駅周辺では、引き続き宮元町における市街地再開発事業に必要な支援をしてまいります。

高崎芸術劇場・高崎アリーナ企画誘致事業では、両施設において開催される文化事業やスポーツ大会の企画・誘致活動を引き続き実施してまいります。

空き家対策では、老朽化した空き家の解体費用やお年寄りが気軽に集まるサロン、また子育てママたちが情報交換するサロンなどとして活用する場合の改修費への助成などを引き続き実施いたします。

	・ 中心市街地の活性化と観光施策の拡充	
	お店ぐるりんタクシーの運行	37,727千円 (23ページ)
	高崎まつり補助	50,000千円 (24ページ)
	高崎だるま市開催補助	14,000千円 (24ページ)
	高崎じまん等の支援	142,240千円 (23ページ)
拡大	高崎の食発信事業	50,000千円 (23ページ)
拡大	・ 豊岡新駅（仮称）設置事業	59,751千円 (25ページ)
	・ 豊岡経大大橋（仮称）整備事業	33,200千円 (25ページ)
	・ 市街地再開発事業（宮元町第二地区）	379,000千円 (26ページ)
	・ 高崎芸術劇場・高崎アリーナ企画誘致事業	197,560千円 (10ページ)
	・ 空き家緊急総合対策助成	100,000千円 (27ページ)